

年頭のご挨拶

奥出雲町長 勝田 康則

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年も、新型コロナウイルス感染症の拡大が、経済や生活などの様々な分野に影響を及ぼしました。

このような中、地域経済の回復に向け、観光業や飲食業などを中心とした商工業者の皆様や低所得の子育て世帯などに対し、様々な支援策を講じてまいりました。引き続き、国の経済対策の動向を注視しながら、町内の実情に応じたきめ細やかな支援を行います。

また、3回目のワクチン接種については、できる限り早期に接種を開始し、希望される方が速やかに接種できる体制を整える考えです。

一方で、コロナ禍の中、明るい話題もありました。

東京オリンピックでは、地元横田高校出身選手6名が、ホッケー日本代表選手として活躍し、大変誇りに思いました。また、高校生や中学生なども、全国トップレベルの活躍をしており、この中から更なるオリ

ンピック代表選手が生まれることを期待します。

そして、11月に静岡県で開催された第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会の国際総合部門において、奥出雲仁多米株式会社「おいしい仁多米をつくる会」のシヒカリが5年連続11回目の金賞を受賞しました。仁多米が品質の高い良質米であることを、国内外にアピールするよい機会となりました。

さて、昨年7、8月の豪雨では、町内でも数多くの被害が発生しました。町では、住宅などに堆積した土砂や倒木の除去について、独自の支援金を創設し、ご活用いただいております。今後も地域防災力の強化を図るとともに、被災時の災害復旧に取り組み、安全安心な地域づくりに努めます。

次に、畜産振興についてです。

今年は、全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されます。7月の最終選抜会に向け、候補牛の地域内保留の推進に取り組めます。島根和牛の主産地として、質の高い奥出雲和牛の持続的な生産体制の確立と生産農家の支援を図ってきます。

次に、JR木次線についてです。

JR西日本は、トロッコ列車奥出雲おろち号が、令和5年で運行終了すると発表されました。今後は、島根県や沿線自治体などが参加する「木次線観光列車運行検討会」で、「おろち号」に代わる新たな観光列車の整備を中心に議論します。

次に、住民主体のまちづくりについてです。住民主体の「小さな拠点づくり」では、地域防災活動をはじめ、買い物やサロンの開催など地域の特徴を活かした魅力ある地域づくりに取り組んでいます。これからのこのような住民主体の活動を支援し、自助・互助・共助・公助のバランスの取れた地域づくりを推進します。

今年も、奥出雲町に暮らす全ての皆様の英知を結集させ、「つながりで築く幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町」をめざして、誰もが幸せを実感でき、この町に愛着と誇りが持てるふるさとづくりに一層取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

高齢者叙勲 旭日単光章

松崎 幸二さん(八川)

松崎さんは、平成9年から2期7年5ヶ月に亘り横田町議会議員を、平成17年から1期4年に亘り奥出雲町議会議員を務められ、その間、横田町議会副議長、産業建設常任委員会委員長などを歴任され、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されました。また、平成の大合併と言われた市町村合併に際して、横田町議会市町村合併調査研究特別委員会委員、横田町議会市町村合併推進調査特別小委員会委員として、平成17年3月の仁多町との合併に尽力されました。

これらをはじめとする多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。

これらをはじめとする多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。



令和3年度 おくいずも 子育て応援事業所を認定

町では仕事と子育ての両立を応援する事業所を「おくいずも子育て応援事業所」として認定する制度を平成27年から実施しています。今年度は、横田蔵市が認定され、勝田町長から認定証が手渡されました。

横田蔵市では、子育て世代が、学校行事などに参加するため、休暇を取得しやすい職場づくりや職場全体で時間外労働の削減に努められています。

また、小学生の社会科見学や中学・高校生の職場体験の受け入れ、一人暮らしの高齢者向け健康教室への場所提供など地域貢献活動に積極的に取り組まれています。



令和3年度島根県各種功労者表彰

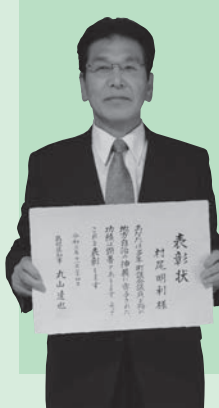
この賞は、各分野で県勢の発展に大きな貢献があった方を島根県知事が表彰するもので、本町から次の方が受賞されました。

〈功労分野〉農林水産 杠 隆夫さん (横田)



平成3年から通算29年の永きに亘り、島根県指導農業士を務められた杠さんが受賞されました。杠さんは、トルコギキョウ栽培を先進的に導入し、三井野原の生産者に指導を行うなど花卉栽培技術の向上に努められました。また、新規就農者への栽培技術の相談や農業機械の貸出を行うなどの功績が評価されました。

〈功労分野〉地方自治 村尾 明利さん (馬木)



平成17年から通算4期16年に亘り、奥出雲町議会議員を務められた村尾明利さんが受賞されました。村尾さんは、総務文教常任委員会委員長や教育福祉常任委員会委員長などを歴任され、地方自治の発展に尽力されたことが評価されました。

みんなで人権について考えよう「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年は、標語869点、イラスト34点の応募があり、12月4日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。各部門の最優秀作品は右記のとおりです。

表彰式終了後には、身近な場面において、一人一人の違いを尊重して仲良く生活するために必要なことについて考える研修会を実施しました。

【標語の部】

いいづか さあや 飯塚 咲采さん(布勢小6年)

『個性の花

みんな集めて 花束に』

【イラストの部】

今年度は該当作品はありませんでした。